

登米地区

1 研究主題

「主体的な探究活動を促す理科指導の工夫」
—身近な素材の教材化を通して—

2 本年度の重点

- 一斉研修の内容の充実
- 研究紀要「胞子の芽ばえ」の内容の充実
- 指導力向上のための理科部員相互の理科授業参観

3 本年度の役員

- 部長 田辺 昭浩 (上沼小校長)
- 副部長 千葉 貞孝 (柳津小教頭)
大森 誠志 (石越小教頭)
- 事務局 鈴木 康史 (石越小教諭)
- 県幹事 田辺 昭浩 (上沼小校長)
千葉 貞孝 (柳津小教頭)
大森 誠志 (石越小教頭)
- 理事「理科教育のあゆみ」編集委員
須藤 士 (中津山小教諭)
「胞子の芽ばえ」編集委員
佐藤 智之 (加賀野小教諭)
小松 朝子 (石越小教頭)

4 本年度の事業

(1) 総会

(4月22日：登米市立中田中学校)

- ①研究主題の決定
- ②役員選出
- ③事業計画の立案

(2) 第1回理事会および研修会

(7月31日：みやぎ生協加賀野店)

- ①会計報告及び会計予算
- ②一斉研修の内容検討
- ③「理科教育のあゆみ」について
- ④「胞子の芽ばえ」について
- ⑤県幹事会の報告
- ⑥研修会

講話「新しい時代の革新リーダーの育成
に向けて」

講師 田辺 昭浩 (上沼小校長)

(3) 一斉研修

(10月2日：登米市石越公民館)

- 内容：新教科書編集者による講話
- テーマ：「新小学校理科教科書について理解を深める」
- 講師：東京書籍株式会社本社
営業局理科編集部小学校理科編集長
窪田 直 氏
ICT事業本部第一営業部
荻沢 啓介 氏
東京書籍株式会社東北支社
第一営業部第一営業課
重松 裕基 氏

本年度より登米地区小学校理科の教科書で使用している東京書籍については、教科書自体が新編集となった。そのため、その内容や編集の意図等に関する理解を深める目的で、編集者を講師にお招きしての研修会を開催した。登米市でもデジタル教科書の導入が進んでいる中、デジタル教科書担当者もお招きし、研修を深めることができた。

○参加者の感想から

- ◎ 普段何気なく使っている教科書についての編集の意図をうかがい、学習の流れを工夫したり学習シートを活用したりすることで、子どもたちの理解が深まると考える。また、教職員の負担軽減のメリットもあると感じた。
- ◎ 教科書の創意工夫についての話を伺い、理科の楽しさを改めて感じた。教材会社からキットを購入して実験することが多かったが、身近な生活用品から材料を見付けて実験に使用していきたい。
- ◎ 分かりやすく使いやすい教科書だと思った。研修でさらに内容の深さを知り、今後の授業での活用が楽しみである。

(4) 研究紀要第51集「胞子の芽ばえ」の発刊 (3月)